



7/2より仮園内に掲示中！ぜひ一度ご覧ください！

左から、石巻市の亀山市長、宮城県の笹出義典、災害廃棄物対策課長、JV事務所長の佐々木所長



「思い出の写真」デジタル化して公開へ

被災地で回収された写真のデータをパソコン上で閲覧することができる「思い出の写真」デジタル公開センターが、JV事務所の隣に開設され、7月14日に開所式が行われました。

JVが行う災害廃棄物の選別作業においても写真や位牌などの思い出の品を回収するよう努めておりますが、一つでも多くの品が持ち主のもとに戻るよう祈るばかりです。

《デジタル公開センター概要》
○所在地 石巻市雲雀野町2-15-3
○受付 9時～16時
○休館日 月曜と祝日の翌日
※お盆期間中もオープンしています
○駐車場 6台
○問合せ 石巻市防災対策課



ホイールローダーによる可燃物の投入状況。左からM2、M3焼却炉

ストーリーカー炉2基稼働開始

7月16日にM3（三菱重工・環境化学エンジニアリング製3号炉）、26日にM2（同2号炉）のストーリーカー炉2基が完成し、稼働を開始いたしました。既に稼働しているロータリーキルン炉2基と合わせ、これで全5基の焼却炉のうち4基が稼働したことになります。1日あたり1200t（300t/日×4基）の可燃物の焼却が可能となりました。残る1基のストーリーカー炉についても建設を急ピッチで進めており、8月上旬には完成を迎える見込みです。完成すれば国内最大級の巨大焼却炉施設が誕生し、石巻地域の災害廃棄物の早期処理に向け、また一歩前進することになります。

全国安全週間

「ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害」のスローガンのもと、7月1日から7日まで、全国安全週間の各種行事が実施されました。

2日に行われた安全大会では、石巻労働基準監督署の佐藤次長から安全講話を頂いたほか、優良作業員と安全標語の表彰、作業員を代表して丸磯建設㈱の寺島臣吾さんが安全宣言を行いました。JV職員と作業員全員が安全復興を心に誓いました。



はたらく機械シリーズ⑥ 破砕機 (M&J6000)



特徴として、らせん状に取り付けられた鋭利な回転刃が効率よく噛みこんで切断する点、無理な力がかかると自動的に逆回転して閉塞物の排出を行う点、衝撃や振動が少ない点が挙げられます。また長尺物、硬質物、軟質物のどれも破砕可能で、混合物の多い災害廃棄物処理業務に適した破砕機と言えます。

当現場では、デンマーク製の鏝形二軸裁断式破砕機 M&J6000を4台導入しています。処理能力は1基につき1時間あたり200tを誇り、投入された廃棄物を30センチメートル大に粗破砕することで、その後の処理工程を易しくする役目を負っています。



茨城県笠間市へ向かうトラックに積み込まれる可燃物。



仙台市へ向かう廃棄物の重量を計測するトラック。広域処理の際は、ゲートモニター（写真赤丸部分）で放射線量も計測しています。

ブロック外処理 広がる

7月19日に、茨城県笠間市の廃棄物処理施設「エコフロンティアかさま」で試験焼かれる可燃物25tの搬出が行われました。試験の結果を踏まえ、地域の方々の理解が得られれば、8月にも本格的な搬入が開始され、来年度末までに可燃物7500t、不燃物3万tの受入れが計画されています。

また27日には、仙台市への可燃物の搬出（170t/日）が開始されました。仙台市の災害廃棄物と併せて焼却され、来年度末までに最大10万tの石巻地域の災害廃棄物が焼却・埋立される計画です。



今回参加した有志の面々



清掃後



清掃中



清掃前

「土木の神様」の墓地清掃を行いました

石巻の繁栄の礎となる北上川の河川改修を行った川村孫兵衛重吉翁への報恩感謝祭として始まった「石巻川開き祭り」の開催を前に、川村翁の墓地の清掃をJV職員有志で行いました。

8月1日の川開き祭り本祭においては「縄張り神社みこし渡御」にも担ぎ手として有志が参加する予定です。

—8月の予定—

8/1	安全大会
8/3	土木学会現場視察
8/8	国交省小中学生現場見学会
8/13	CISV現場視察
8/13~16	現場全体
8/23	暴排・災害防止協議会
8/25	京大地球環境室現場視察
8/31	セメント若手の会現場視察

JV職員紹介

①出身地 ②主な職歴 ③趣味・特技 ④抱負

①熊本県玉名市
②廃棄物処理現場(当現場)
③釣り(東北ではまだしていません)、水泳(ロンドン五輪が楽しみです)
④現場に来て3か月の未熟者ですが、石巻地域の復興事業に携われたことを誇りに思います。分からないことは何でも聞き、少しでも早く現場の事を理解し、現場の役に立てよう努力します！



工事係 福田克夫

①北海道
②水力発電所、高速道路工事、最終処分場工事、ゴルフ場造成工事などに従事
③年寄りの冷や水と家族から言われていますが、2年前に免許を取ったバイクにはまっています。
④災害廃棄物処理業務を通じて、1日でも早い復旧、復興に向けて微力ながら尽力致します。



次長 遠坂雅貴